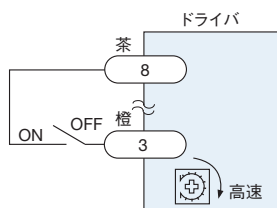
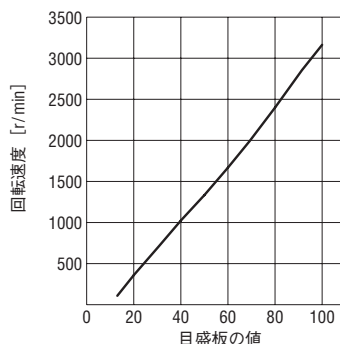
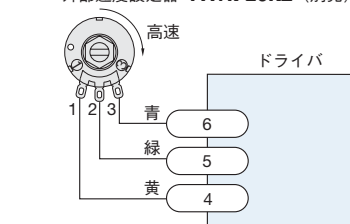
●速度設定方法

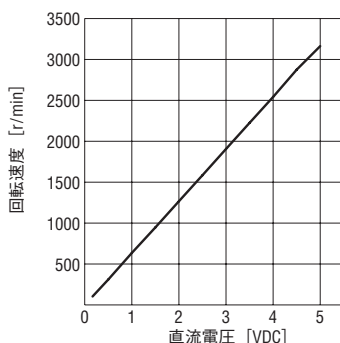
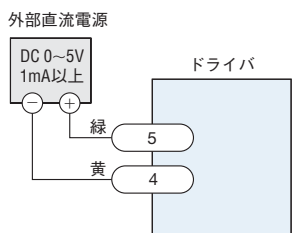
◇内部速度設定器の場合

INT.VR/EXT入力をONにすると、内部速度設定器で速度設定ができます。
内部速度設定器を使用しない場合は、接続する必要はありません。

◇外部速度設定器(別売)の場合

モーターの速度設定をドライバより離しておこなう場合には、オプションの外部速度設定器を次のように接続します。

外部速度設定器 **PAVR-20KZ**(別売)

外部速度設定器目盛ー回転速度特性(代表値)

◇外部直流電圧の場合

外部直流電圧でモーターの速度を設定する場合には、次のように接続します。

外部直流電圧ー回転速度特性(代表値)

ご注意

●モーター単体時の回転速度です。ギヤードタイプ、コンビタイプのギヤ出力軸回転速度は、減速比で割った値になります。

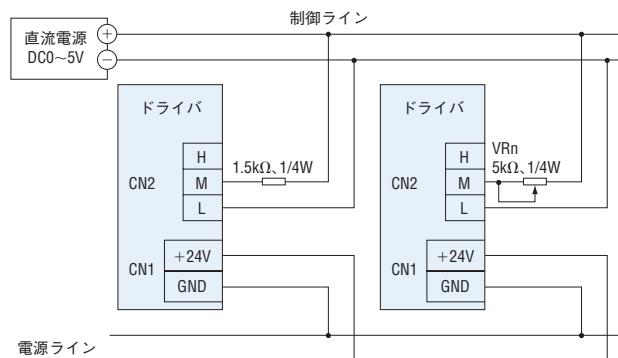
●並列運転

2台以上のモーターを同一速度で運転する場合は、直流電源または外部速度設定器のいずれかを使用しておこなうことができます。

◇外部直流電源を使用しておこなう場合

●直流電源は電流容量が、下式の値以上のものをご使用ください。

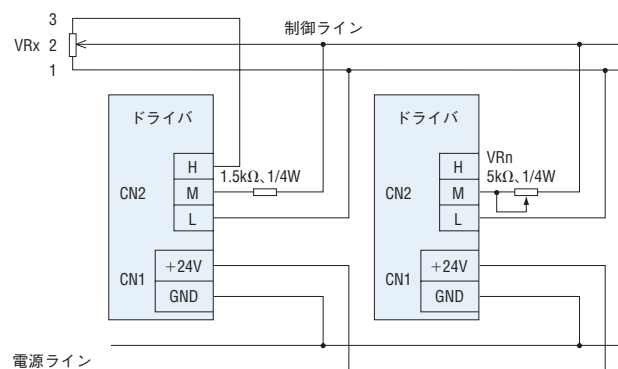
ドライバN台のときの電流容量 I = 1 × N (mA)
例:ドライバ2台のときは、2mA以上となります。

●速度設定以外の入出力信号は各ドライバごとに接続してください。
●各モーターの速度差は1台目のドライバM端子に1.5kΩ、1/4Wの抵抗を接続し、その他のドライバM端子に5kΩ、1/4Wの可変抵抗器(VRn)を接続して調整してください。

◇外部速度設定器を使用しておこなう場合

下図のように電源ライン、速度制御ラインを共通にし、VRxで速度を設定します。

●外部速度設定器の抵抗値は、次のように求めます。

ドライバN台のときの抵抗値 VRx = 20/N (kΩ)、N/4(W)
例:ドライバ2台のときは、10kΩ、1/2Wとなります。

●速度設定以外の入出力信号は、各ドライバごとに接続してください。
●各モーターの速度差は1台目のドライバM端子に1.5kΩ、1/4Wの抵抗を接続し、その他のドライバM端子に5kΩ、1/4Wの可変抵抗器(VRn)を接続して調整してください。
●外部速度設定器での並列運転は、5台以下にしてください。

この製品の詳細情報や使用上のご注意は、取扱説明書をご確認ください。
取扱説明書は、ホームページのパーソナルWEBカタログからダウンロードしていただくか、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
http://www.orientalmotor.co.jp/